

# 第1章 教育

## 教育プロジェクト③

## 産業界と教育現場の橋渡しの役割を担う教育支援プロジェクト JERIC の活動

### 教員のインターネット利用への支援体制

2001年までに全小中高等学校にインターネットを導入すべく、急ピッチで整備が進んでいる。2004年度までに校内LANの整備、さらに2005年度までに全学級の授業においてコンピュータを活用できる環境の整備が目標とされ、予算措置も講じられようとしている。しかしながら、一方で教員によるインターネット活用の支援体制はまだ十分とはいえない。急速な設備導入が一部の教員にとって大きな負担となり、また多くの教員は有効に利用できるところまで至らず、思うように教育効果が上がらないことが懸念されている。

そこで、ジェリック（英名：Japan Educational Resource Information Center, 以下、略称のJERICを用いる）

は、学校におけるインターネットの教育利用支援を目的に、早稲田大学理工学部後藤研究室主管のプロジェクトとして昨年より活動を開始した。

JERICでは、「インターネット導入校、インターネット利用の初心者教員の支援」「インターネット利用教育の先進者による人的ネットワークの維持」「さまざまな教育情報の集約と伝達、提供」を基本方針としている。

そして、これらを実現するために構築したのが通産省の特別認可法人、情報処理振興事業協会（IPA）の「教育の情報化」実証実験プロジェクトとして構築・運用されたインフォメーションデスクシステムである。

### 教育現場に密着した情報の提供とデータベース化

JERIC インフォメーションデスクは、小中高等学校、特殊教育諸学校、教育委員会、センターなどの登録組織を対象と

したサービスを行っている。

サービスフロントでの問い合わせ受付では、随時インターネットの教育利用についての問い合わせを電子メール、FAX、電話で受け付けており、過去の事例やインターネット上の情報の検索、K12『インターネットと教育』研究協議会（代表：大阪教育大学、越桐教授）

の協力によりインターネットを利用した教育を先進的に実践している現場教員からの情報などを総合して情報提供を行っている。利用者から見ると、現場に密着した最新情報が得られ、またインフォメーションからの回答は、単なるQ&Aに終わらず、問い合わせをした教員が後に自分の力で情報を得ることができるような情報となっているため、自己の情報リテラシー向上につながるという利点がある。K12協議会側も、各人に蓄積されていた情報が回答事例としてJERICのデータベースに蓄積されることにより、無形の情報が有形化されるため負担が軽減され、また、参考情報提供時などに他のメンバーとの意見交換を行うことにより、活動が活性化され、新たな実践を生むという利点がある。

ウェブによる情報提供では、その特性を生かし、より教育現場での利用価値の高い情報を収集し、提供している。一例を挙げると、教育向けの検索サイト集、教育関連メーリングリスト集、公開研究会情報などを掲載している。

その他、電子メールマガジンでは、教育系新聞による最新情報や最近の質問と回答事例などを紹介している。

### 他組織との連携

現在、JERICは先にも挙げた現場教員を中心とする自主研究会であるK12『インターネットと教育』研究協議会、情報教育関連企業により構成された「情報教

育の明日を語る企業の会」（以下、企業の会とする）の2組織と密接に連携を取りながら活動を行っている。最近では産業界で不要になった中古のパソコンを学校現場に安価に提供して欲しい、より現場に密着した教育ソフトが必要との要望があがっている。このような背景から、JERICが産業界と学校現場の橋渡し役として、K12協議会と企業の会を通じて両者の意見を集約することにより、教育の情報化がより円滑に進むことを望んでいる。具体的上記3者による活動として、3月に早稲田大学で行われた『インターネットと教育』フォーラム2000がある。フォーラムはK12『インターネットと教育』研究協議会が中心的に運営し、JERICは事務局の支援、企業の会は展示関連の支援を行った。8月には同じ早稲田大学で、企業の会を中心とする教育フェスティバル2000（仮称）を開催する予定となっている。

また、5月27、28日に開催される郵政省関連のイベント「インターネットと教育シンポジウム2000 in 沖縄」（主催：「インターネットと教育シンポジウム2000 in 沖縄」実行委員会）でも、関係者が実行委員として参加し、積極的な支援を行っている。他にも、（財）コンピュータ教育開発センター（CEC）、（社）日本教育工学協会（JAPET）などの教育関連団体とも協調し、相互に連携している。

さらに、JERICでは今年度NPO法人化を計画しており、国際連携活動など、より幅広い事業を展開する予定である。

（神山一恵 JERIC）

 <http://www.jeric.gr.jp>  
<http://www.k12.gr.jp>



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)